

表-5.5 生活用水量の推計結果

		H11(実績)	H22
①給水人口 (万人) ただし、実績は(人)	北大阪	1,716,730	171.89
	東大阪	2,080,566	210.00
	南河内	697,291	71.82
	泉州	1,695,536	169.93
	計	6,190,123	623.64
②平均生活用水原単位 ( $l$ /人/日)	北大阪	278.5	292.1
	東大阪	264.7	280.1
	南河内	267.3	286.1
	泉州	260.7	279.7
	平均	267.7	284.0
③平均生活用水需要水量 ( $m^3$ /日)	北大阪	478,183	502,100
	東大阪	550,790	588,300
	南河内	186,358	205,500
	泉州	441,995	475,300
	計	1,657,326	1,771,200

### 5.3 業務・営業用水などの推計

◎ 既存分と新規開発分に分けて推計する。

(1) 既存分

◎ 昭和61年度から平成11年度までの実績値を図-5.4に示す。

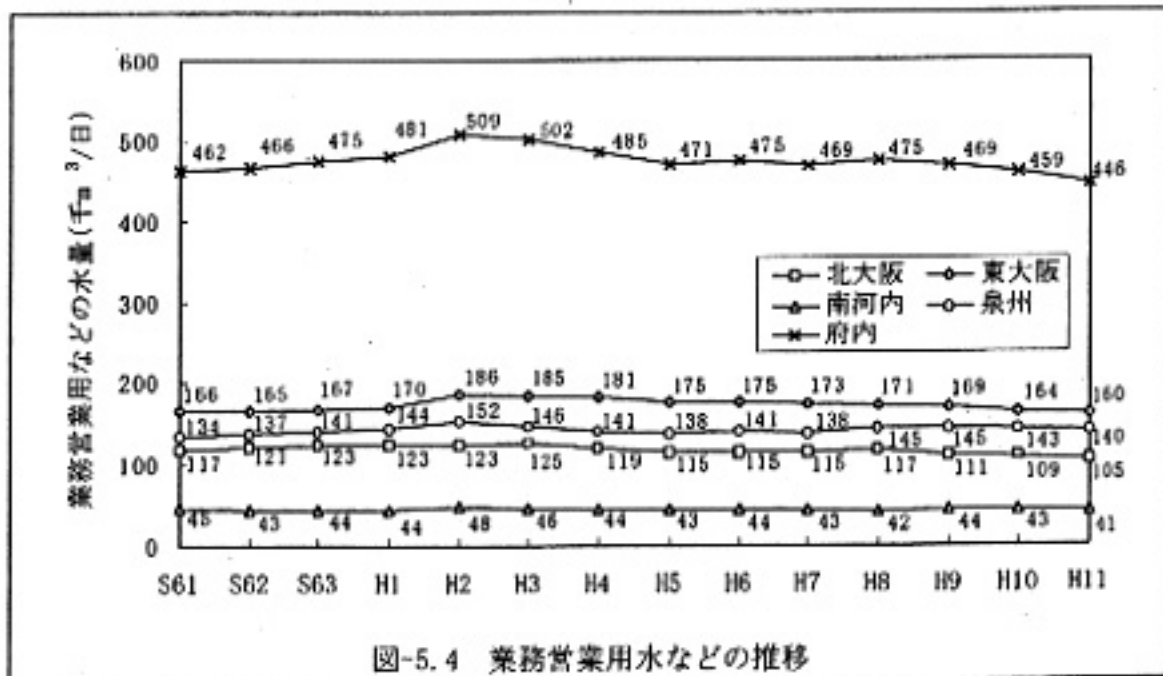


図-5.4 業務営業用水などの推移

◎ 実績の前半(昭和61年代から平成2年度頃)はバブル景気などの影響により、増加しているが、後半では概ね横ばい～減少傾向で推移している。増加傾向にある泉州ブロックは関西国際空港の開港に伴う臨海部開発によるものと考えられる。

◎ 景気による産業動向などを考慮して、実績値の平均値で一律設定とする。

- 北大阪ブロック : 117,037m<sup>3</sup>/日
- 東大阪ブロック : 171,911m<sup>3</sup>/日
- 南河内ブロック : 43,838m<sup>3</sup>/日
- 泉州ブロック : 141,818m<sup>3</sup>/日

(2) 新規開発分

◎ 業務営業用水等の新規開発分については、「大阪府主要プロジェクト集(平成8年3月)」、事業者ヒアリング結果や最近の動向などを踏まえて、業務営業用水としての需要が見込まれる事業を抽出した。

◎ 新規開発事業の需要水量は、表-5.6 に示すとおりである。

表-5.6 業務営業用水等における新規開発水量

	完成予定年度	敷地面積(ha)	商業用等敷地面積(ha)	商業用等延べ床面積(ha)	需要水量(m <sup>3</sup> /日)	H22需要水量(m <sup>3</sup> /日)
<b>北大阪ブロック</b>						
1	H15	22.6	3.6	—	150	150
2	H24	742.6	262.6	—	10,510	8,980
3	H13	—	—	—	2,200	2,200
4	H12	—	—	—	2,000	2,000
小計					14,860	13,330
<b>東大阪ブロック</b>						
5	H17	24.6	(8.6)	—	350	350
6	H18	10.7	—	13.2	1,060	1,060
7	H13	—	—	3.9	320	320
小計					1,730	1,730
<b>南河内ブロック</b>						
(なし)		—	—	—	—	—
小計					0	0
<b>泉州ブロック</b>						
8	H24	320.0	111.3	—	4,460	3,960
9	H37	—	—	—	19,150	6,100
10	H17	—	—	—	1,550	1,550
11	H17	—	—	—	1,590	1,590
12	H12	19.5	14.2	—	570	570
13	H18	6.5	—	28.6	2,290	2,290
14	H18	370.0	—	—	10,750	10,750
15	H18	141.7	—	—	840	840
16	H23	—	—	—	2,700	2,700
小計					43,900	30,350
合計					60,490	45,410

- ◎ 主要プロジェクトは、「大阪府主要プロジェクト集(平成8年3月)」より業務営業用水の需要が見込まれる事業を抽出した。
- ◎ 商業用等敷地面積のうち、( ) 付きの値は現段階では不明であったため、以下の方法で推計した。
  - ①敷地面積と商業用等敷地面積が重複している事業を対象として割合を算出した。0.35(ha/ha)
  - ②敷地面積×0.35=商業用等敷地面積で算出する。
- ◎ 需要水量の算出に使用した水収率単位の情報は、以下に示すとおりである。
  - 40m<sup>3</sup>/ha/日：敷地面積当たりの算単位で、「昭和63年度大阪府営水通事用水需要予測調査(大阪府水道部)」より引用した。
  - 80m<sup>3</sup>/ha/日：延べ床面積当たりの算単位で、「昭和63年度大阪府営水通事用水需要予測調査(大阪府水道部)」より引用した。
- ◎ 中央丘陵開発(トリヴェール)について、テクノステージなどの事業計画より算出

(3)まとめ

◎ 既存分と新規開発分を加算したものを、業務・営業用水などの推計結果とし、表-5.7に示す。

表-5.7 業務営業用水などの推計結果

		H11(実績)	H22
④業務営業用水等 (既存) ( $m^3$ /日)	北大阪	104,541	117,037
	東大阪	159,997	171,911
	南河内	41,213	43,838
	泉州	139,961	141,818
	計	445,712	474,604
⑤業務営業用水等 (新規開発) ( $m^3$ /日)	北大阪	0	13,330
	東大阪	0	1,730
	南河内	0	0
	泉州	0	30,350
	計	0	45,410
⑥業務営業用水等 (既存+新規開発) ( $m^3$ /日)	北大阪	104,541	130,400
	東大阪	159,997	173,700
	南河内	41,213	43,900
	泉州	139,961	172,200
	計	445,712	520,200

5.4 有収水量の推計

◎ 生活用水量と業務・営業用などの水量を加算したものが、有収水量となり、その推計結果を表-5.8に示す。

表-5.8 有収水量の推計結果

		H11(実績)	H22
⑦日平均有収水量 ( $m^3$ /日)	北大阪	582,724	632,500
	東大阪	710,787	762,000
	南河内	227,571	249,400
	泉州	581,956	647,500
	計	2,103,038	2,291,400

## 5.5 計画一日平均給水量の推計

### (1) 有収率の推計

◎ 昭和61年度から平成11年度の実績値を表-5.9に示す。

表-5.9 有収率の実績値

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
北大阪	92.5	93.0	93.4	93.3	94.1	94.4	94.9	94.8	94.3
東大阪	92.7	93.0	93.0	93.5	93.3	93.7	93.8	93.9	93.6
南河内	91.3	91.8	92.8	93.2	93.1	93.5	93.3	93.4	93.9
泉州	90.5	90.7	91.1	92.1	91.5	91.7	91.8	92.2	92.4
平均値	91.9	92.2	92.6	93.0	93.0	93.3	93.5	93.6	93.5

◎ 有収率は近年高水準となり、今後大幅な向上は見込めないと考える。

◎ 大阪市を除く府内の平均有収率が最大となった平成10年度の各ブロックの有収率で一律設定とする。

### (2) 計画一日平均給水量の推計

◎ 計画一日平均給水量は『有収水量÷有収率』で算出する。

◎ 計画一日平均給水量の推計結果を表-5.10に示す。

表-5.10 計画一日平均給水量の推計結果

		H11(実績)	H22
③有収率 (%)	北大阪	94.3	94.8
	東大阪	93.6	93.9
	南河内	93.9	93.4
	泉州	92.4	92.2
	計	93.5	93.6
④日平均給水量 (m <sup>3</sup> /日)	北大阪	617,791	667,200
	東大阪	759,634	811,500
	南河内	242,402	267,100
	泉州	629,650	702,300
	計	2,249,477	2,448,100

## 5.6 計画一日最大給水量の推計

### (1) 負荷率の推計

◎ 平成3年度から平成11年度の実績値を表-5.11に示す。

表-5.11 負荷率の実績値

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
平均値	81.0	81.6	84.3	79.5	82.6	83.3	84.3	83.6	83.0

◎ 大阪府水道部で実施した水需要調査(平成10年2月)における実績値に、近年の動向を追加した平成3年度から平成11年度において、大阪市を除く府内の平均負荷率の最小値：79.5%(平成6年度値)で一律設定とする。

→平成6年度は大規模な濁水が発生しているが、平成6年度の一日平均給水量は平年並みであり、設定としては問題ない(平成6年度の負荷率は特異値ではない)と考えられる。

### (2) 計画一日最大給水量の推計

◎ 計画一日最大給水量は『計画一日平均給水量÷負荷率』で算出する。

◎ 計画一日最大給水量の推計結果を表-5.12に示す。

表-5.12 計画一日最大給水量の推計結果

		H11(実績)	H22
⑩日最大給水量 (m <sup>3</sup> /日)	北大阪	748,703	839,300
	東大阪	897,188	1,020,800
	南河内	305,080	336,000
	泉州	760,270	883,400
	計	2,711,241	3,079,500